

グループごとにまち歩きで得た気付きを共有後、住民が主体となって推進出来そうなルールづくり、景観を守る・創る取組について議論していただきました。

各グループから出た意見

開催概要

日時 : 令和6年10月27日(日)11:00~15:00
会場 : 浪江駅周辺、浪江町役場2階大会議室
参加者 : 9名

Aグループ

Bグループ

まち歩きを通じた意見

- ✓ 歩道が平らではないため、車椅子だと大変そう。車椅子でも安心・安全なバリアフリーの街にしたい
- ✓ 自転車での移動にも配慮された街になると良い
- ✓ 街灯が少ない。夜も安心して歩ける街だと良い
- ✓ 祭り・コンサート・イベントを開催するための空間が駅前に複数あるとよい
- ✓ 駅前整備事業でデザインされたエリアと、それ以外とでコントラストが生じてしまわないかを懸念

- ✓ 連続する緑空間で十日市をしたい
- ✓ 夏や雨の日の日よけ・屋根があると良い
- ✓ 夜間の照明にも配慮したい
- ✓ 歩車分離など安全安心な計画を
- ✓ 郵遊通りという名前があったことを初めて知った
- ✓ 空の広さを実感できる景色

ハード面のルール

- ✓ まち並みを明るくするために、建物の色をパステル色などの明るい色に揃える
- ✓ 自宅の塀やフェンスを生垣とする
- ✓ 道路に面して庭を設ける

- ✓ 建物の高さをそろえる
- ✓ 電線や電柱を見えにくくする（無電柱化）
- ✓ 調和した明かりを設ける（通りによって特色を出す）
- ✓ 花や実のなる木を増やす
- ✓ 看板がなくても良い街にできると良い
（店舗等の情報はwebから取得可能にする）

ソフト面の取組

- ✓ 住宅の前に花壇を設ける
- ✓ 駅前・町役場など町内の花壇整備をボランティアで行う（ボランティアを募る仕組みがあると良い）
- ✓ 草刈りなどの活動を自身の家や田畑に加えて、その周囲についても行う

- ✓ 敷地内や自宅前に植物を植える
- ✓ 日常的に自宅周辺を清掃する
- ✓ 季節ごとに装飾を行う（かつて行っていたお祭りなど）